

管路耐震化必携の一冊

R6年版 歩掛案を発売 浮上防止、管口耐震化を追加

管路診断コンサルタント協会（山崎義広会長）は、「下水道管路施設改築・修繕に関する設計委託業務標準歩掛（案）―令和6年版―」を発売した（写真）。マンホール浮上対策やマンホール管口耐震化対策実施設計に関する設計業務歩掛を新たに盛り込んだもので、管路耐震化事業を進める上で必携の一冊。

管路診断コンサルタント協会では、平成12年に初版を発行以来、これまで

平成26年版では「耐震対策計画編」を、29年版

令和6年版では、「第3章 マンホール浮上対策実施設計積算基準（案）」「第4章 マンホ

今回発売した令和6年版設計標準歩掛案は、6月に東京会場、7月に名古屋会場で開催する技術講習会の受講者を受け付けている。ライブ配信を予定するほか、民間企業・団体のブース展示も行う。

分）▽日時 6月28日、13時15分～16時30分▽場所 CIVI研修センター 日本橋N5HAL（東京都中央区日本橋室町）▽参加費 官公庁・協会員は無料、非会員5000円▽詳細 管診協ウェブサイト参照▽問い合わせ 管診協事務局（TEL 03-5810-1921）。

下水道管路施設改築・修繕に関する
設計委託業務標準歩掛（案）

―令和6年版―

令和6年4月

一般社団法人 管路診断コンサルタント協会

では時代ニーズを踏まえた新知見を盛り込んできた。対策計画編」を、29年版では「下水道ストックマネジメント計画（マンホール蓋）編」を、令和2年には「高解像度カメラを用いたマンホール・管口点検編」など別冊版を発行し、設計標準歩掛と合冊する形で収録してきたほか、歩掛に関するQ&A集を盛り込むなど刷新を図ってきた。

令和6年版では、「第3章 マンホール浮上対策実施設計積算基準（案）」「第4章 マンホール管口耐震化対策実施設計積算基準（案）」を新たに章立てし、それぞれ積算基準案、設計標準歩掛案、仕様書案を盛り込んだ。総合地震対策計画策定という大枠から、マンホールトイレシステム、マンホール浮上対策、マンホール管口耐震化対策と、耐震化に関わるメニューが出揃った。このほか、資料編として、国からの通達も網羅している。

管診協は、6月に東京会場、7月に名古屋会場で開催する技術講習会の受講者を受け付けている。ライブ配信を予定するほか、民間企業・団体のブース展示も行う。

【開催概要（東京会場）】
▽日時 6月28日、13時15分～16時30分
▽場所 CIVI研修センター 日本橋N5HAL
（東京都中央区日本橋室町）
▽参加費 官公庁・協会員は無料、非会員5000円
▽詳細 管診協ウェブサイト参照
▽問い合わせ 管診協事務局
（TEL 03-5810-1921）。